

半自動梱包機 D55シリーズ トラブルシューティング

D55/D56/D56NA/D55LA/D55LB/D55卓上/D55SUS



【修理調整作業時の安全上の注意】

- ・修理調整等作業（以降「修理」）は必ず電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ・高温の箇所がございます。手で触れることができるまで十分に冷ましてから修理を行ってください。
- ・詰まったPPバンドを手で引っ張るなど、PPバンドに触れる際、エッジで手を切らないように注意をしてください。
- ・電源OFFであっても部品を手動で動かす際は手を挟まないように十分に注意をしてください。
- ・修理後や修理中に動作確認が必要になる際は、上面テーブルを取り付けた状態で、安全に十分注意を払い確認を行ってください。
- ・修理を行っている作業員以外の方が誤って機械を動作させないように修理は1人で行って下さい。
- ・取扱と運転に関しては、取扱説明書の諸事項に従い、正しく安全に取扱と運転を行ってください。

項目	チェック項目	ページ
・電源が入らない	1. 電源コードの状態 2
	2. ヒューズは切れていないか 2
・機械が動かない	3. バンド詰まり表示ランプが点灯しているか ◎ バンドかすの除去～バンド通路の掃除方法 3
	4. 電源表示・過負荷ランプが点滅しているか ◎ リセットスイッチによる解除 ◎ 過負荷の確認 ◎ LS-3、4の交換 4
	5. 梱包する時に、バンドを差込んで作動するか ◎ ストライカーまたはLS-1の交換 ◎ 制御基板などの不具合 5
・バンドが接着しない	6. ヒーターに熱がきていない ◎ ヒーターセットの交換 6
	7. バンドの接着面はどのような状態か ◎ ヒーターの温度調整 ◎ ヒーターの掃除 ◎ その他の調整 7, 8
・バンドが送られない	8. バンドの通し方 ◎ バンドの装着 及び 通し方 9
	9. バンド送りSWでバンドを送るか ◎ バンド送りダイヤルの設定 ◎ バンド送りの圧力を強くする ◎ 動作や部品の状態確認 9
・バンドが締まらない	10. バンドが製品に巻き付くか ◎ 引締め調整ダイヤルの確認 ◎ LS-3の交換 ◎ ソレノイドプランジャーの動作 ◎ LS-2の交換 ◎ 最小引締め力の設定 10, 11
	11. バンドが製品に巻き付いた後に緩む ◎ LS-3、4の位置調整 11
・バンドが切れない	12. リセットSWを押すことでバンドが切れるか？ ◎ 動作や部品の状態確認 ◎ 上下刃の交換 12, 13
・バンド幅の変更	13. バンド幅の変更手順 14
・営業拠点一覧	 15

・電源が入らない。

【チェック項目 1】 電源コードの状態

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

- ・電源コードの被覆が破れている、あるいはコンセントが破損している場合は、感電の恐れがありますので、確認作業は行わないでください。

■ 点検・修理方法： 電源コードの確認

別のコンセントについて、電源がONするか確認します。



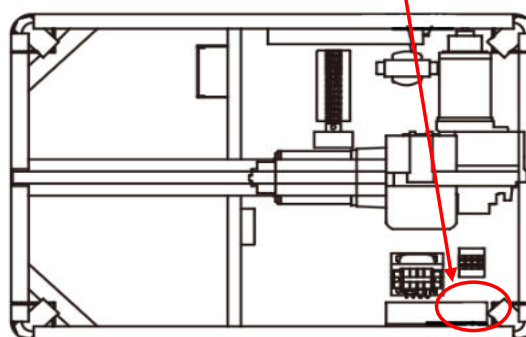
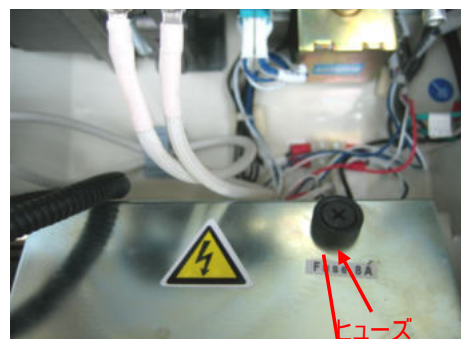
【チェック項目 2】 ヒューズは切れていないか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

- ・電源ONの状態ではューズの脱着を行うとショートする可能性があります。必ず電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

■ 点検・修理方法： ヒューズの確認と交換

電源をOFFにし、電源コードを抜いた後、ヒューズを確認します。ヒューズが切れていたら交換をして下さい。



・機械が動かない

【チェック項目 3】 バンド詰まり表示ランプが点灯しているか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

■ 点検・修理方法： バンドかすの除去

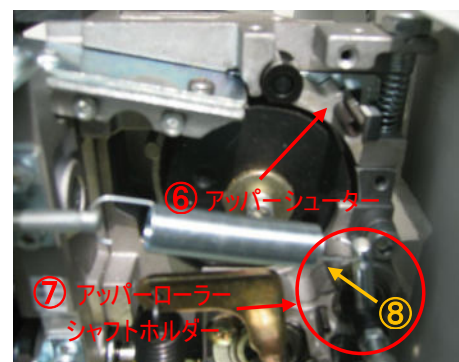
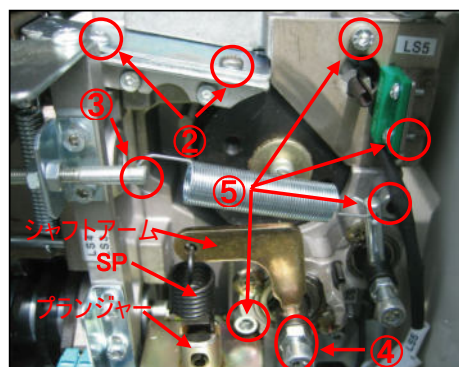
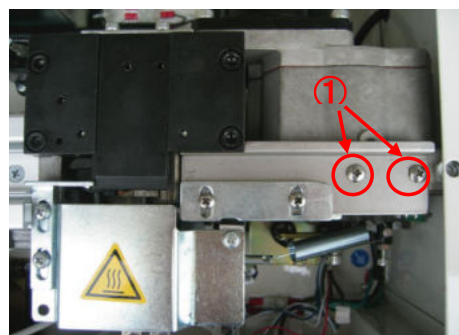
バンドつまりランプが点灯している場合、バンドが内部で
詰まっています。下の差込み口からバンドを引抜き、
ランプが消えない場合は、バンドの通路を分解し、残ったバンド
かすを除去します。

バンド通路の掃除方法

- 1 ①のプラスネジ×2本を外します
- 2 ②のプラスネジ×2本を外します
- 3 ③のタッチローラーズプリングを外します
- 4 ④のナットを緩め、キャップボルトも緩めます
- 5 シャフトアームとSP、プランジャーを分解せずに外します
⇒ シャフトアームを外す時、どの位置に止まっていたか
マジック等で印を行うと、組み付ける際に調整の
必要がなくなります。
- 6 ⑤のキャップボルト×4本を外します
- 7 ⑥アッパーシューター と ⑦アッパーローラー
シャフトホルダーを手前に引き外します
- 8 除去が終わったら、逆の手順で組み付けてください

交換後、組立時の注意事項

- ※ 組み付け時は、⑦アッパーローラーシャフトホルダーを左上方(⑧の方向)に押し付けてキャップボルトを締め付けてください。
また、シャフトアームの取付高さにご注意ください
- ※ ②のネジ取付時、バンド幅の調整にご注意ください
(14ページの「バンド幅の変更手順」をご参照ください)



【チェック項目 4】 電源表示・過負荷表示ランプが点滅しているか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

■ 点検・修理方法: リセットスイッチによる解除

電源表示・過負荷表示ランプが点滅する場合、
電源を入れ直し、リセットSWを押すと点灯に戻ります。

■ 点検・修理方法: 過負荷の確認

リセットSWを押しても再点滅する場合は、モーターの不良、
あるいは過負荷となります。部品交換や負荷を取り除く処置が
必要になりますので、販売店またはストラパックの最寄り営業
拠点(P.19参照)にご相談ください。

■ 点検・修理方法: LS-3,4の交換

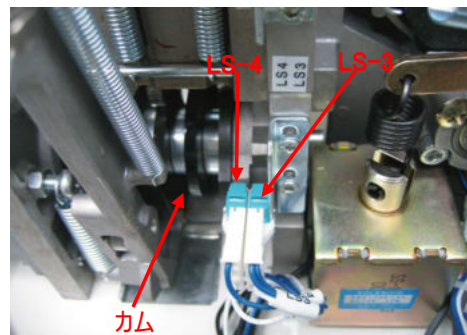
LS-3,LS-4の故障で点滅する場合があります。
その場合は次の項目を確認してください。

LS-3不良の場合

- ① リセットSWを押すと正常に動作する。
- ② 梱包するとバンドを引き締めず、カムが約3回転し、
バンドを送らず電源表示ランプが点滅する。
(回転する音で判断をしてください)
- ③ ①と②の動作が見られる場合LS-3の故障です。
LS-3を交換してください。

LS-4不良の場合

- ④ リセットSWを押すとカムが約2~3回転し、
バンドを送らず電源ランプが点滅する。
(回転する音で判断して下さい)
- ⑤ 梱包するとバンドを引締め後、カムが約2~3回転し、
バンドを送らず電源表示ランプが点滅する。
(回転する音で判断して下さい)
- ⑥ ④と⑤の動作が見られる場合LS-4の故障です。
LS-4を交換してください。



【チェック項目 5】 梱包する時に、バンドを差込んで作動するか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

■ 点検・修理方法： ストライカーまたはLS-1の交換

バンドの先端を梱包機に差し入れ、スイッチを作動させます。
梱包機が作動しない場合はスイッチ（LS-1）の故障、あるいは、バンドの先端が触れる部分（ストライカー）が破損している可能性があります。

ストライカー、LS-1交換方法

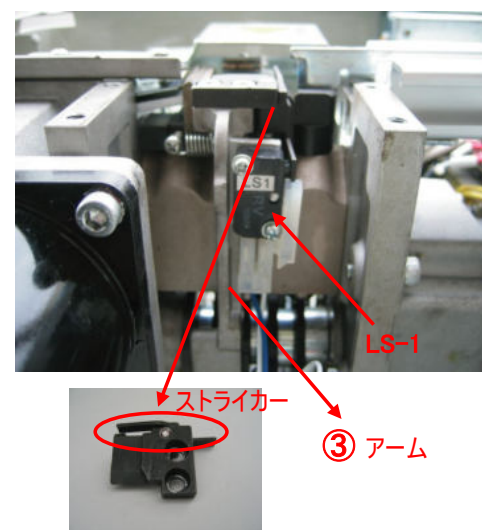
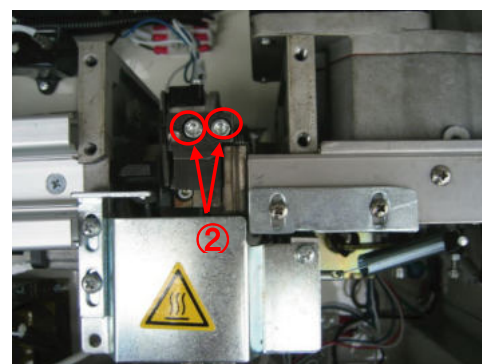
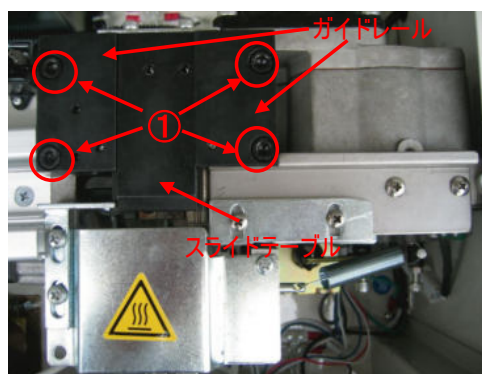
- 1 ①のキャップボルト×4本を外す
- 2 ②のキャップボルト×2本を外す
- 3 LS-1もしくはストライカーが破損している場合は交換します

交換後、組立時の注意事項

- ※ ②（キャップボルト）の締め付け時に、③（アーム）が破損しないようご注意ください
- ※ ①（キャップボルト）の締め付け時に、両サイドにあるガイドレールを内側に寄せすぎずに、スライドテーブルが前後にスライドするように取り付けして下さい。

■ 点検・修理方法： 制御基板などの不具合

制御基盤などが故障している可能性があります。
販売店またはストラパックの最寄り営業拠点（P.15参照）にご相談ください。



・バンドが接着しない。

【チェック項目 6】 ヒーターに熱がきていない

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

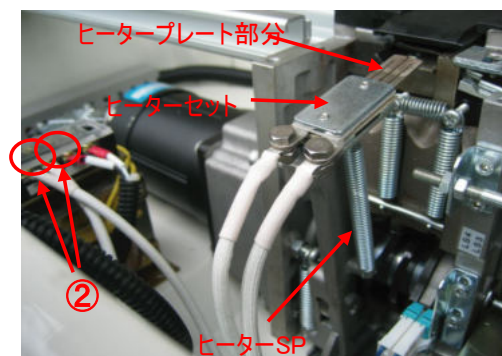
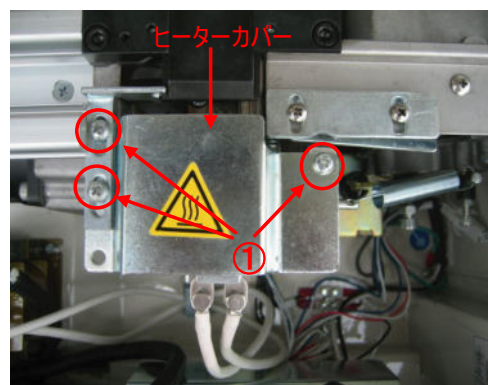
- ・ 温度確認の際、直接手で触る、あるいは周辺に手を近づけると火傷の原因になります。絶対に行わないでください。
- ・ ヒーターセットの交換や清掃の際、ヒーター部を手で触れることができるまで十分に冷ましてから作業を行ってください。

■ 点検・修理方法： ヒーターセットの交換

PPバンドに溶けた跡がない場合、ヒーター線が断線している可能性があるため、ヒーターセットを交換します。

ヒーターセットの交換手順

- 1 ①のプラスネジ×3本を外すし、ヒーターカバーを外します。
- 2 ②のプラスネジ×2本とヒーターSPを外し、ヒーターセットを交換します。



【チェック項目 7】 バンドの接着面はどのような状態か

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

- ・ 温度確認の際、直接手で触る、あるいは周辺に手を近づけると火傷の原因になります。絶対に行わないでください。
- ・ ヒーターセットの交換や清掃の際、ヒーター部を手で触れることができるまで十分に冷ましてから作業を行ってください。

■ 点検・修理方法： ヒーターの温度調整

制御ボックスにある、ヒーター温度調整ダイヤルで調整を行います。

サンプル①：ヒーター温度が適正な例

接着部分をはがした時に白くなっています。

サンプル②：ヒーター温度が低い例

接着部分をはがした時に白くなっておらず、表面がザラついていません。温度が低い状態です。
⇒ ヒーター温度調整ダイヤルを上げます。

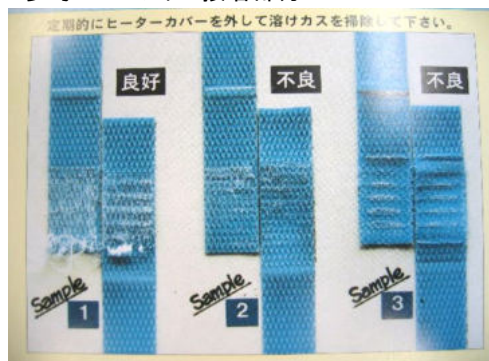
サンプル③：ヒーター温度が高い例

接着部分をはがした時に白くならず、表面がザラついています。また、溶解部の幅が広がっています。
温度が高すぎても接着をしません。
⇒ ヒーター温度調整ダイヤルを下げます。

温度調整及び調整後の注意事項

- ・ 温度調整時はボリュームを大幅に回さずに少しずつ調整してください。
- ・ 調整後、1分程経過してからテストします。

参考：PPバンドの接着部分



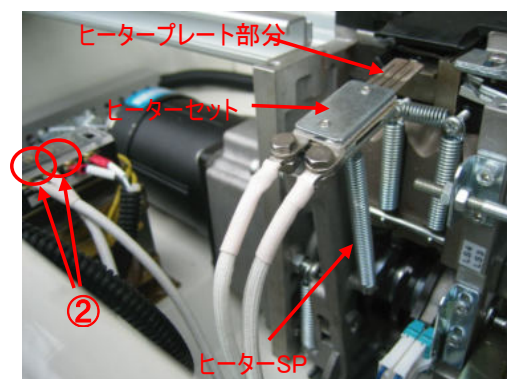
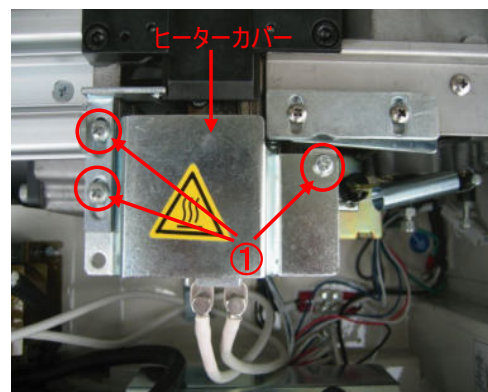
- 注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。
- ・ 温度確認の際、直接手で触る、あるいは周辺に手を近づけると火傷の原因になります。絶対に行わないでください。
 - ・ ヒーターセットの交換や清掃の際、ヒーター部を手で触れることができるまで十分に冷ましてから作業を行ってください。

■ 点検・修理方法： ヒーターの掃除

温度調整を行っても効果が出ない場合は、ヒータープレート上下の汚れを掃除します。

ヒーター掃除の手順

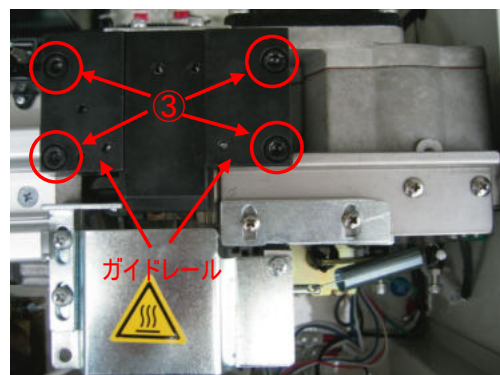
- 1 ①のプラスネジ×3本を外すし、ヒーターカバーを外します。
- 2 ヒーターSPを外し、ヒータープレートの上下(裏表)についでいる汚れを落とします。



■ 点検・修理方法： その他の調整

③のキャップボルト×4本に緩みがあると溶着が安定しないため、緩みを確認します。

上記処置で改善しない場合は、ガイドレールや中ブロックセットの消耗も考えられます。販売店またはストラパックの最寄り営業拠点 (P.15参照) にご相談ください。



※ 中ブロックセットに関する説明は
12、13ページをご参考ください

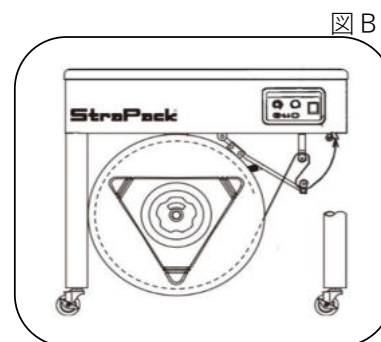
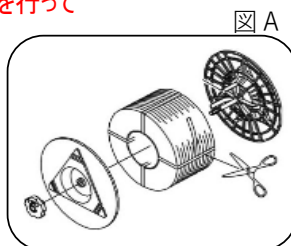
・バンドが送られない

【チェック項目 8】 バンドの通し方

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

■ 点検・修理方法： バンドの装填 及び 通し方

バンドの装填方法は図Aの通りです。
バンドの通し方は図Bの通りです。



【チェック項目 9】 バンド送り出しSWでバンドを送るか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

■ 点検・修理方法： バンド送りダイヤルの設定

バンド送りダイヤルの設定が不足しています。
設定値を高くします。



■ 点検・修理方法： バンド送りの圧力を強くする

機械内部の制御ボックスにある、①の「正転タッチ圧
調整ダイヤル」を時計回りに回すと、バンドの送る
圧力が強くなります。



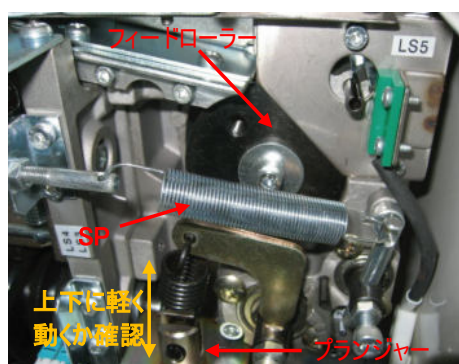
調整時の注意事項

調整ダイヤルは数ミリ回すだけで、大きく圧力が
変わりますので、少しずつ回してください。

■ 点検・修理方法： 動作や部品の状態確認

バンド送りに関係する箇所の動きや、部品の
状態を確認します。

- ・プランジャーが手で上下に軽く動かか確認します。
- ・SPが外れていないか確認します。
- ・フィードローラーの表面が油分や水分で濡れていないか確認します。



・バンドが締まらない

【チェック項目 10】 バンドが製品に巻き付くか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

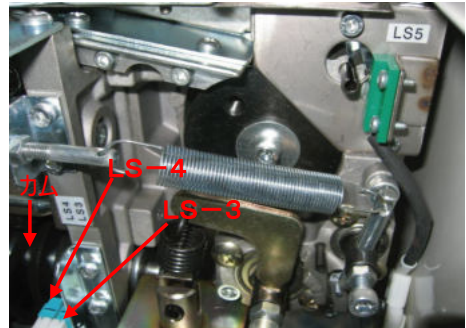
■ 点検・修理方法： 引締め調整ダイヤルの確認

引締めダイヤル設定が最小値か確認します。
最小値の場合、僅かな抵抗で引締りを終了
するので、設定値を上げます。



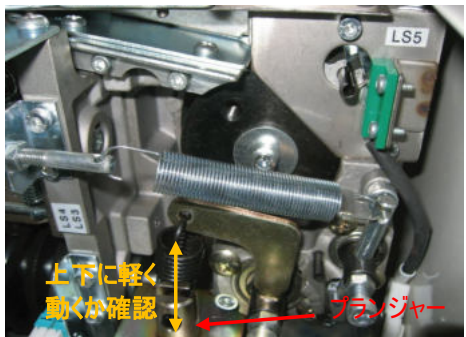
■ 点検・修理方法： LS-3の交換

梱包するとバンドを引き締めず、カムが約3回転し
電源表示ランプが点滅する場合は、LS-3の不良
です。交換して下さい。
(回転する音で判断して下さい)



■ 点検・修理方法： ソレノイドプランジャーの動作

プランジャーが手で上下に軽く動かか確認します。
動かない場合は分解、掃除します。

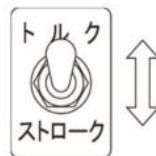


■ 点検・修理方法： LS-2の交換

バンドが約3センチほど逆転した後、引き締めず、
すぐにバンド接着、カット、バンド送りをする場合、
LS-2の不良です。交換して下さい。

※ 引締めモードがストローク時のみ発生します。
トルクモードに切替えることで、応急的に使用
できることがあります。

※ 切替スイッチは機械内部にあります。



注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

■ 点検・修理方法： 最小引締力の設定

電源電圧低下等に伴い、『弱締め』時に途中結束が起こる時、あるいは『弱締め』にしたい場合に調整をして下さい。

最小引締力の調整方法：トルク方式の調整方法

機械内部の制御ボックスにある「最小引締力調整ダイヤル」を調整します。

途中結束が発生する場合は①を時計回りに回します。
弱締めにしたい場合は①を反時計回りに回します。

調整時の注意事項

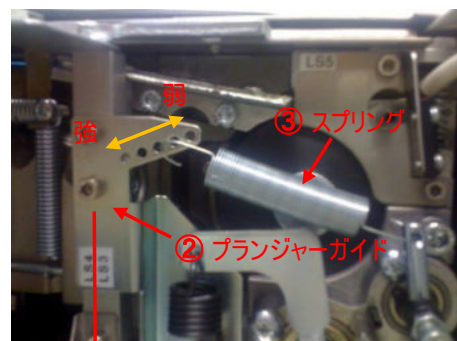
調整ダイヤルは数ミリ回すだけで、大きく変わりますので、少しずつ回してください。

最小引締力の調整方法：ストローク方式の調整方法

②プランジャーガイドのスプリングフック穴より、③のスプリングを外し、適度な穴に掛け直してください。

- ・ 途中結束が発生する……強くする
- ・ 弱締めにする……弱くする

※ 旧タイプはスプリングフックボルトを左右にずらして調整して下さい。



※旧タイプ

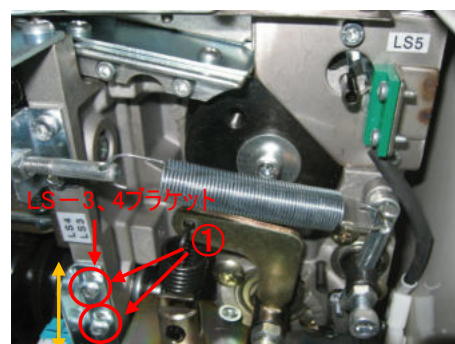


【チェック項目 11】 バンドが製品に巻き付いた後に緩む
(引締め後、バンドが緩む場合)

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

■ 点検・修理方法： LS-3,4の位置調整

LS-3,4のブラケットがずれています。①のネジを緩め高さを上下に調整します。調整の目安はLS-3,4のブラケット上部が上の段差より約10mm下の位置に取り付けします。



・バンドが切れない

【チェック項目 12】 リセットSWを押すことでバンドが切れるか

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行ってください。

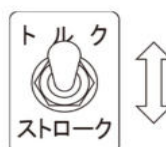
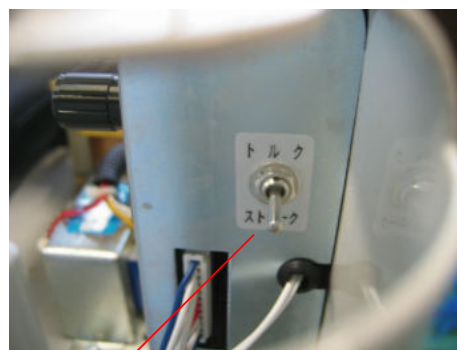
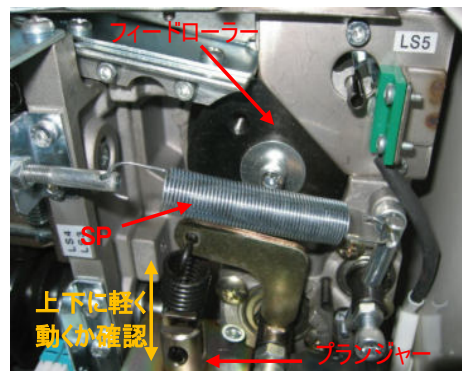
■ 点検・修理方法： 切れる場合：動作や部品の状態確認

引締め終了信号が出力していないため、バンドカットの工程に移らない状況です。バンド引き締めに関する箇所動きや、部品の状態を確認します。

- ・ プランジャーが手で上下に軽く動かか確認します。
- ・ フィードローラーの表面が油分や水分で濡れていないか確認します。

※ 引締めモードがトルクの時のみ発生します。
ストロークモードに切替えることで、応急的に使用できる場合があります。

※ 切替スイッチは機械内部にあります。



注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

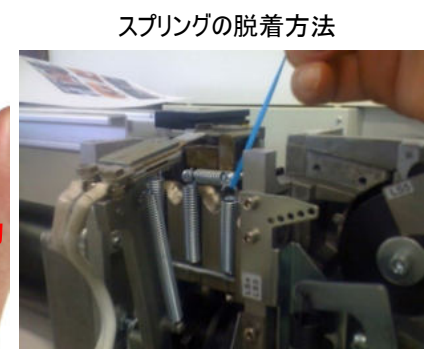
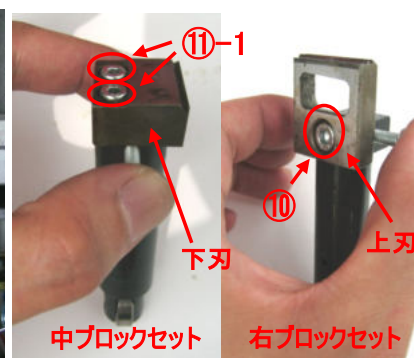
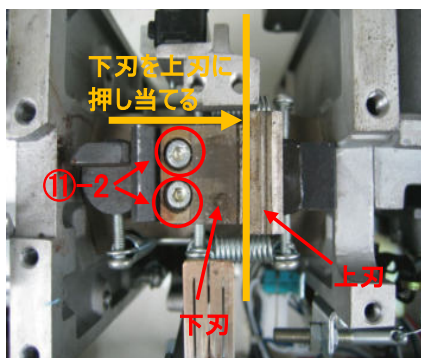
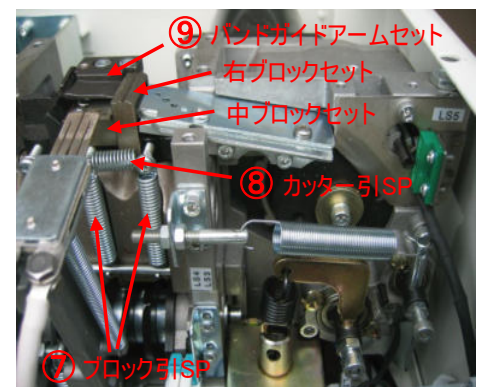
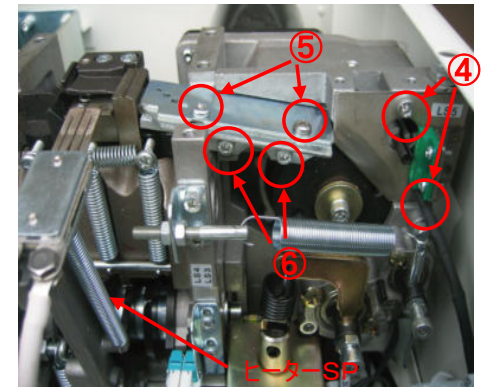
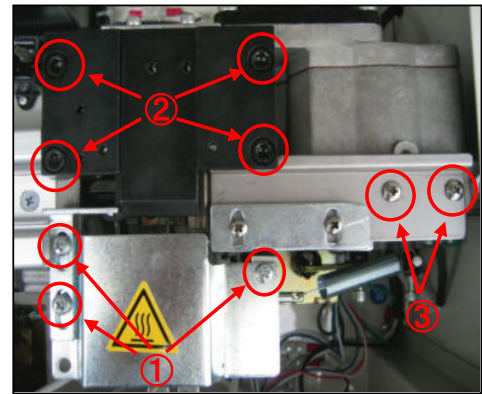
- 点検・修理方法： 切れない場合:カッター上下刃の交換
リセットSWを押しても切れない、あるいは切断面が引き
ちぎったようになる場合はカッター上刃、下刃を交換します。

カッター上刃・下刃の交換方法

- 1 ①プラスネジ×3本とヒーターSPを外す。
- 2 ②キャップボルト×4本を外す。
- 3 ③プラスネジ×2本を外す。
- 4 ④キャップボルト×2本外す。
- 5 ⑤プラスネジ×2本を外す。
- 6 ⑥キャップボルト×2本を外す。
- 7 ⑦ブロック引SP×2本を外す。
- 8 ⑧カッター引SP×2本(裏側にも1本)を外す。
- 9 ⑨バンドガイドアームセットを奥に押しながら、
右ブロックセット、中ブロックセットを外す。
- 10 ⑩キャップボルト×1本を外し、上刃を交換する。
- 11 ⑪-1キャップボルト×2本を外し、下刃を交換する。
- 12 右ブロックセット、中ブロックセットを元通りに組み込む
- 14 下刃を上刃に押し当てながら⑪-2キャップボルト×2本
を締め込みます。
- 15 元通りに組み上げます。

分解組付時の注意事項

スプリング脱着は右下図のようにバンドの
切れ端を割いて使用すると便利です。



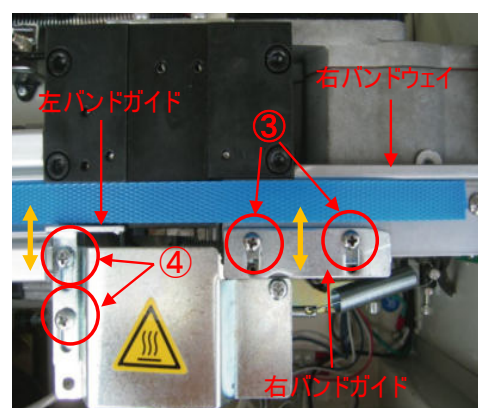
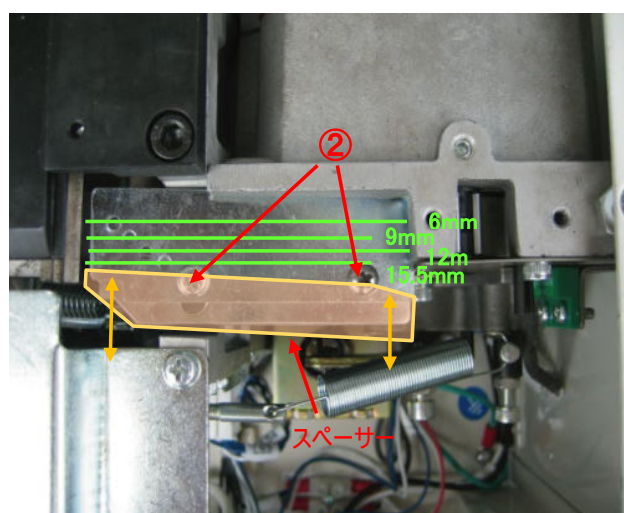
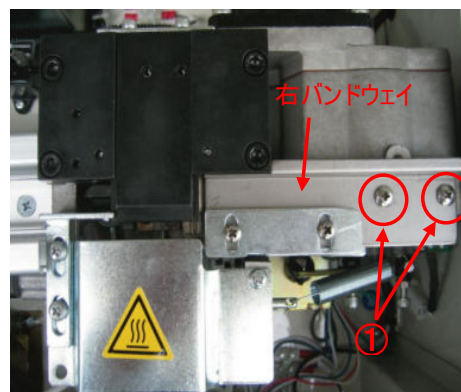
・バンド幅の変更

【チェック項目 13】 バンド幅の変更

注意・1ページ目の「修理における安全上の注意」をご確認
いただき、安全に十分注意を払いながら修理を行って
ください。

バンド幅の変更手順

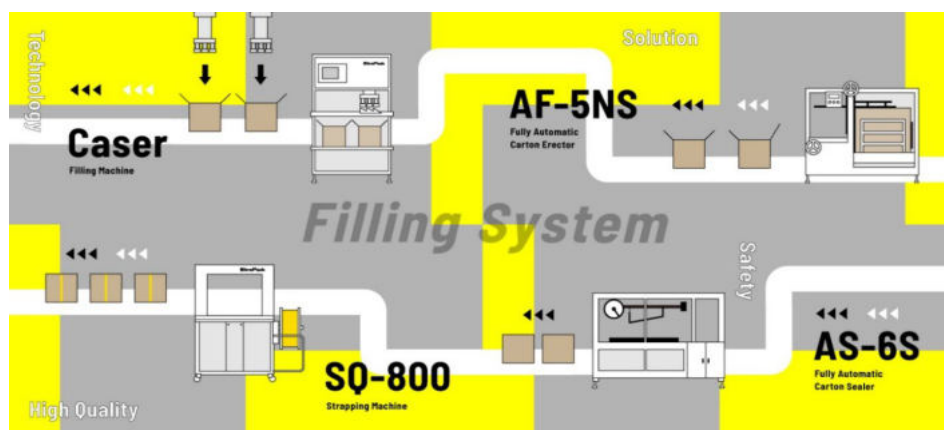
- 1 ①プラスネジ×2本を外し、右バンドウェイを取り外します。
- 2 ②プラスボルトを緩め、中のスペーサーをバンド幅+1ミリ程、余裕を取って調整します。
(バンドを予め通しておく調整が簡単です)
(図中の矢印はスペーサーを調整する方向)
- 3 右バンドウェイを取り付けます。
- 4 右バンドウェイにある③のプラスネジと左バンドガイドを取り付けている④のプラスネジを緩め、バンド幅+1ミリ程、余裕を取って調整します。



・営業拠点一覧

ストラパック株式会社

修理のご依頼やご相談をされる際は、お買い上げの販売店、ストラパックの営業拠点またはストラパックホームページの「修理に関するお問い合わせ」からご連絡ください。 → <http://www.strapack.co.jp/maintenance>
ご連絡の際は、製品左側面に記載の「機種」、「機械番号」および故障状態をお伝えください。



・本社	東京都中央区銀座8-16-6 銀座ストラパックビル・・・	TEL:03-6278-1801 FAX:03-6278-1800
・カスタマーサポートセンター	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7245 FAX:045-475-7252
・営業企画室	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7211 FAX:045-475-7220
・札幌支店	札幌市中央区大通東9-1	TEL:011-241-6335 FAX:011-222-3728
・旭川SSP	旭川市十条通22-1-12	TEL:0166-34-9597 FAX:0166-34-9534
・仙台支店	仙台市若林区鶴代町2-11	TEL:022-232-7459 FAX:022-231-0779
・郡山営業所	福島県郡山市八山田4-125	TEL:024-938-7210 FAX:024-932-2977
・盛岡SSP	岩手県盛岡市緑ヶ丘3-4-33-102号	TEL:019-601-9531 FAX:019-601-9557
・東京支店	東京都北区浮間3-14-4	TEL:03-3965-6181 FAX:03-3558-0240
・筑波SSP	茨城県石岡市山崎1028-2	TEL:0299-46-4551 FAX:0299-46-4553
・横浜支店	横浜市神奈川区菅田町2800	TEL:045-475-7260 FAX:045-475-2260
・甲府SSP	山梨県甲府市幸町13-21	TEL:055-232-6405 FAX:055-232-6404
・高崎支店	群馬県高崎市上並榎町113-1	TEL:027-370-2181 FAX:027-370-2026
・新潟SSP	新潟市東区粟山1-20-18	TEL:025-384-8601 FAX:025-384-8605
・名古屋支店	名古屋市守山区白山1-1003	TEL:052-769-0251 FAX:052-769-0261
・北陸SSP	石川県金沢市東力4-97-10	TEL:076-292-6027 FAX:076-292-0247
・静岡営業所	静岡県焼津市三ヶ名382-1	TEL:054-628-1315 FAX:054-628-2025
・大阪支店	大阪市西淀川区佃5-5-2	TEL:06-6473-7241 FAX:06-6473-7236
・岡山営業所	岡山市北区今8-13-17	TEL:086-244-4112 FAX:086-243-3470
・高松支店	香川県坂出市府中町5573-6	TEL:0877-48-2114 FAX:0877-48-2142
・広島支店	広島市南区東出雲本町2-10-28	TEL:082-282-3011 FAX:082-283-9210
・福岡支店	福岡県太宰府市水城3-12-34	TEL:092-921-3400 FAX:092-925-2332
・鹿児島営業所	鹿児島市伊敷町4743-3	TEL:099-228-7611 FAX:099-228-7600
・沖縄SSP	沖縄県浦添市宮城3-10-1-B102	TEL:098-879-4515 FAX:098-879-4515